

各科目ごとの学習内容と目標

「現代の国語」

		学習の内容	学習の目標
前期	第1回	ルリボシカミキリの青①	全体の構成を捕えて、物語の展開を理解する
	第2回	ルリボシカミキリの青②	・筆者の少年時代の体験について書かれた文章を読み、自分の人生について考える
	第3回	未来をつくる想像力①	・情報と想像力の関係を論じた文章を読み、意見の根拠を的確に理解して筆者の主張をつかむ
	第4回	未来をつくる想像力②	・情報の過剰と想像力の関係を考える
	第5回	水の東西①	・「水」を巡る日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特質について理解を深める
	第6回	水の東西②	・鹿威しと噴水の違いに着目する
後期	第7回	鍋洗いの日々①	・自分の道を切り開いた筆者の体験談から、仕事に対する思いを読み取る
	第8回	鍋洗いの日々②	・「社会とかかわる」というテーマで、人生の先輩たちのいきかたを参考にし、これからの糧にする
	第9回	美しさの発見①	・「美」という抽象的な題材について論じた文章を読み、その展開を論理的に捉え、筆者の価値観を理解する
	第10回	美しさの発見②	・現代における人間の生活と技術の問題を理解する
	第11回	真の自立とは①	・現代社会における「できる」「できない」の構造とそれが人生に及ぼしている影響について読み取る
	第12回	真の自立とは②	・「自立」の在り方について考察する文章を読み、自分の考えをもち、視野を広げる

「言語文化」

		学習の内容	学習の目標
前期	第1回	さくらさくらさくら	・読むことにおいて、文章の種類を踏まえて、内容・構成・展開などについて叙述をもとに的確に捉える
	第2回	とんかつ	・本文に描かれた出来事や会話、行動の描写を捕え、学習課題に沿って、登場人物の心情とその変化を読み取り、主題について考える
	第3回	短歌・俳句	・短歌・俳句の特徴や表現効果を理解し、課題に沿ってそれぞれの歌・俳句に込められた情景や心情を読み取る
	第4回	I was born	・散文詩を読み味わい、詩や題名に込められた作者の思いを理解する
	第5回	古文に親しむ	・有名な古文の一部分を読むことで、日本人のものの見方・考え方の一端に触れ、名文を味わう
	第6回	児の空寝 亀山殿の御池に	・古文の仮名遣いに注意しながら音読する ・古語に慣れながら話の面白さを理解する ・兼好法師の考えを理解する
後期	第7回	羅生門①	・小説の登場人物を通して、極限状況に追いつめられた人の揺れ動く感情や生きを考える
	第8回	羅生門②	・現実にはあり得ない物語を通して、想像力の豊かさを学ぶ
	第9回	折々の歌	・日本の伝統である和歌の世界に触れ、日本人の美意識や自然観を理解する
	第10回	奥の細道	・江戸時代の名文を読み、いかなる思いで東北への旅を思い立ったのか理解する
	第11回	訓読の基本 故事成語	・訓読の決まりを理解し、漢文や故事成語を読めるようにし、言葉の幅を広くする
	第12回	格言・論語	・人の在り方・人間の生き方を考えさせる「論語」を読んで、古人の知恵に触れる

「文学国語」

		学習の内容	学習の目標
前期	第1回 第2回	山椒魚	・主人公の山椒魚のおかれた状況を理解し、場面展開を理解する。対立から和解へ向かう過程を理解する。 ・語句の意味や用法を的確に理解する。 ・小説に込められた作者の主張を読み取り理解する。 ・山椒魚の心情を理解しつつ、現代社会に生きる私たちが抱える問題について考える。
	第3回 第4回 第5回	山月記	・人間が虎に変身するという得意な状況のなかでの、主人公の内面と苦悩について理解する。 ・李徴が抱える自意識の葛藤は、多かれ少なかれ、近代社会における「人間」に共有されたものである。現実離れた設定ではあるが、李徴の内面は人間らしく現実的な複雑さを持っている。
	第6回	文学史 進路作文	・今の高校生は読書離れが進んでいる。この混沌とした先行き不透明の現代社会にあって、どう生きていくかは大事な問いである。便利さ・効率・スピードが要求される今、じっくり文学の世界に浸ってほしいと明治以降の文学史を概観することとした。文学の魅力・役割を理解してもらいたい。
後期	第7回 第8回 第9回 第10回	こころ あらすじ	・読書の習慣がほとんどない生徒に小説のおもしろさ、人間のこころの不可思議さを実感させ、人間存在を考えるきっかけとする。夏目漱石を知る。 ・先生は自らの恋愛を成就するために親友の「K」を裏切るというエゴイズムの問題が描かれ、人間のこころという移ろいゆくまなぬものに振り回される悲劇が展開される。 ・私とKの関係、物語の展開とそれぞれの心理と人間性を的確に読み取り、「私」のとった行動を理解する。
	第11回 第12回	舞姫	・「舞姫」は近代的自我に目覚めた太田豊太郎が自分の生き方を貫くことができなかった苦しみ・葛藤を描いた作品である。自由と自我の目覚めのほかに、恋愛・友情・社会の仕組みなどの問題も内包されている。

「地理総合」

		学習の内容	学習の目標
前期	第1回	・地図と地理情報システム ・結び付きを深める現代世界	・地図の役割や有用性を理解し、地図やGPSの活用方法について考える ・国際社会における国家の役割を理解し、地域間のさまざまな相互関係について考える
	第2回	・生活文化の多様性と国際理解 ・世界の気候と人々の生活	・地形が、人々の生活に与える影響を考える ・気温や降水、風などの気候要素が人々の生活に与える影響を考える
	第3回	・世界の言語・宗教と人々の生活 ・歴史的背景と人々の生活	・言語や宗教が人々の生活に与える影響について考える ・さまざまな歴史的背景が人々の生活に与える影響について考える
後期	第4回	・世界の産業と人々の生活	・産業の発展が、人々の生活にどのような影響を与えているか考える
	第5回	・地球的課題と国際協力	・他地域との結び付きや地域の特徴などに着目しながら、持続可能な社会をつくるためにどのような取組が必要か考える
	第6回	・自然環境と防災	・人間と自然の関わりや地域の特徴に着目して、災害に強い地域づくりについて考える

「歴史総合」

		学習の内容	学習の目標
前期	第1回	・近代化への問い ・結びつく世界と日本の開国	交通と貿易、産業と人口、権利意識と政治参加や国民の義務などに関する資料を活用し、近代化に伴う生活や社会の変容について多面的・多角的に考察し、問いを表現する
	第2回	・国民国家と明治維新	国民国家の形成の背景や影響などに着目して、国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し立憲制と国民国家の形成を理解する
	第3回	・第一次世界大戦と大衆社会	第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する
後期	第4回	・経済危機と第二次世界大戦	経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、国際協調体制の動揺を理解する
	第5回	・冷戦と世界経済	冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解する
	第6回	・世界秩序の変容と日本	冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する

「日本史探究」

		学習の内容	学習の目標
前期	第1回	先史・古代の日本と東南アジア	日本の歴史の始まりとアジアとの交流の流れを理解する。
	第2回	古代社会の形成と展開	中国(唐)の影響を強く受け形成される日本の体制を理解する。
	第3回	中世社会の成立	幕府に成立とその影響について理解する。
	第4回	中世社会の展望	室町時代から戦国時代への展開を理解する。
	第5回	近世社会の形成	江戸幕府の成立までの流れを理解する。
	第6回	近世社会の展開	江戸幕府における政治の展開について理解する。
後期	第7回	近世社会の展開2	江戸幕府三大改革の成立について理解する。
	第8回	近代社会の幕開け	鎖国終了から明治政府の成立までの流れを理解する。
	第9回	近現代社会の展開	憲法制定からアジアへの支配拡大について理解する。
	第10回	近現代社会の展開 2	第一次世界大戦から第二次世界大戦後の日本の変化を理解する。
	第11回	近現代社会の展開 3	戦後日本の復興の流れを理解する。
	第12回	近現代社会の展開 4	現在の世界の中での日本の位置付けについて理解させる。

「公共」

		学習の内容	学習の目標
前期	第1回	公共的な空間における人間としての在り方生き方	・私たちのものの考え方はどのように伝統・文化と関わっているか考察する ・先哲の思想に学び、人間の在り方生き方について思索を深める
	第2回	公共的な空間における基本的原理-ともに生きるための倫理 民主政治と私たち	・日本国憲法の基本原理を学び、人権保障の意義について理解する ・地方自治・国会・内閣の仕組みと役割について学び、選挙に参加することの意義を考える
	第3回	法の働きと私たち	・法と社会規範の役割、市民生活と私法、司法の仕組みと役割について学び、どのようにして社会秩序が維持されているか理解する
後期	第4回	経済社会で生きる私たち	・市場を公正かつ効率的に機能させるにはどのような規制が必要か考える ・社会を豊かにするために金融が果たす役割を考える ・財政の持続可能な運営について課題と解決策を考える
	第5回	私たちの職業生活 国際社会のルールとしくみ 国際社会と平和主義	・職業選択をとおして自己実現や社会参加の在り方について考える ・国際社会の課題を解決するためのルールについて考える ・国際社会の平和と安全を実現するために必要なことを考える
	第6回	国際平和への課題 持続可能な社会づくりに参画するために	・現代の国際平和への課題を捉え、国際社会の役割を考察する ・持続可能な社会づくりの主体となるために、課題解決に向けて他者と協働して考察、構想し自らの考えを積極的に提案する

「政治・経済」

		学習の内容	学習の目標
前期	第1回	民主政治の基本原則 日本国憲法の基本原理	・法や人権、少数派などの観点に着目し、よりよい民主政治を実現するためにはどのようなことが必要か多面的、多角的に考える
	第2回	日本の政治機構 現代政治の特質と課題	・国会、内閣、裁判所、地方自治それぞれで行われた改革に着目し、日本の政治機構にはどのような課題があるのかを考える
	第3回	現代の資本主義経済 現代社会のしくみ	・企業、市場経済、国民所得、金融、財政などの観点に着目し、現代の経済はどのようなしくみであるのか、どのような課題を抱えているのかを考える
後期	第4回	日本経済の発展と現状 福祉社会と日本経済の課題	・日本の経済や社会が抱える諸課題の解決に向けて自分には何ができるか多面的・多角的に考える
	第5回	国際政治のしくみ 複雑化する国際政治と日本	・現代日本の課題や多様な働き方・生き方の実現、持続可能な食料・農業の実現、防災と安全・安心な社会の実現について取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて考える
	第6回	国際経済と国際経済 世界経済の現状と課題	・グローバル化にともなう社会変容、地球環境と資源・エネルギー問題、国際的な経済格差の是正、持続可能な社会の実現について取り上げた課題の解決に向けて政治と経済を関連させて考える

「倫理」

		学習の内容	学習の目標
前期	第 1 回	人間の心のあり方 様々な人生観・倫理観・世界観Ⅰ	青年期の位置づけ、アイデンティティの確立について考える。 人間の存在や価値について人間としての在り方生き方について考える。
	第 2 回	宗教と社会	キリスト教, イスラーム教, 仏教といった世界三大宗教の基本的な考え方だけでなく, 特徴を理解する。
	第 3 回	様々な人生観・倫理観・世界観Ⅱ	人間尊重、合理的精神の確立、社会契約説、人格の尊厳を様々な人物や思想などから理解する
後期	第 4 回	現代の思想について 日本人の精神風土	現代の思想について人物や思想などから理解する 日本人の思想形成にとの関わりや特色を理解する。
	第 5 回	仏教と日本人の思想形成 西洋思想と日本人の思想形成	儒教の日本的展開や国学, 庶民の思想, 農民の思想, 幕末の思想, 西洋文化との接触などについて理解する。
	第 6 回	現代の諸課題と倫理	現代の社会問題や倫理観について理解し、社会のために必要な在り方生き方について考える。

「数学Ⅰ」

		学習の内容	学習の目標
前期	第1回	数の計算 1. 整数の計算	・基本的な整数の四則演算ができる ・素因数分解、公倍数、公約数の意味を理解し、求めることができる
	第2回	数の計算 2. 小数、分数の計算 3. 計算の利用	・小数、分数の四則演算ができる ・割合（百分率や歩合）を理解し問題を解くことができる ・単位の変換ができる ・概数を求めることができる
	第3回	数の計算 4. 正負の計算	・基本的な正負の数の四則演算ができる ・絶対値の意味が分かる
	第4回	1 章 数と式 1 節 文字と式	・整式の加法・減法、指数法則、整式の乗法、多項式の乗法公式などの基本的な計算ができる ・指数法則、単項式の乗法について理解し、整式を展開することができる ・展開公式と関連させて、因数分解の公式が利用できる
	第5回	1 章 数と式 2 節 実数	・根号を含む式の基本的な計算をすることができる。また、分母の有理化について理解する ・自然数、整数、有理数、無理数の意味がわかり、実数について理解する
	第6回	1 章 数と式 3 節 方程式と不等式	・1 次方程式について理解し、1 次方程式を解くことができる ・不等号の意味を理解し、数量の大小関係を不等式で表すことができる ・不等式を調べることによって、不等式の性質を理解する ・不等式の性質を用いて不等式を変形し、解くことができる ・2 次方程式について理解し、平方根の考え、因数分解、解の公式を用いて2 次方程式を解くことができる
後期	第7回	2 章 2 次関数 1 節 2 次関数とそのグラフ	・関数の概念の理解を確実にし、また、1 次関数のグラフをかくことができる ・2 乗に比例する関数の性質を復習し、それをもとに順次、2 次関数について理解する。また、2 次関数 $y=ax^2+bx+c$ を $y=a(x-p)^2+q$ の形に変形し、そのグラフを利用できる
	第8回	2 章 2 次関数 2 節 2 次関数の値の変化	・2 次関数の最大・最小について理解を深め、定義域に応じて、最大値や最小値を求めることができる ・2 次不等式をグラフを利用して解くことができる
	第9回	3 章 三角比 1 節 鋭角の三角比	・正接、正弦、余弦の意味を理解する。また、 30° 、 45° 、 60° の三角比の値を求めることができる ・三角比の相互関係について理解する
	第10回	3 章 三角比 2 節 三角比の応用	・与えられた辺の長さや角の大きさから、三角形の面積を求めることができる ・正弦定理・余弦定理を理解するとともに、図形の計量の際に有効に活用することができる
	第11回	4 章 データの分析 1 節 データの分析	・度数分布表、ヒストグラム、相対度数分布表に表すことができ、データを整理する ・中央値をもとにした四分位数、四分位範囲を理解する。また、それを箱ひげ図に表すことができる ・表やグラフ、代表地を用いてデータの考察ができる
	第12回	5 章 集合と論証 1 節 集合と論証	・部分集合、全体集合、補集合、共通部分、和集合の意味を理解する ・必要条件、十分条件、必要十分条件、対偶の意味を理解する

「数学 A」

		学習の内容	学習の目標
前期	第 1 回	1 章 場合の数と確率 1 節 場合の数	- 和の法則、積の法則が成り立つのはどのような場面なのかを理解し、樹形図も利用しながらその総数を求めることができる - 順列の意味を理解し、その総数 nPr や階乗の計算ができる。また、円順列や重複順列について学習し、順列を使ったさまざまな考え方ができる
	第 2 回	1 章 場合の数と確率 1 節 場合の数	- 組合せの意味を理解し、その総数 nCr を、順列との関係によって求める筋道を示し、一般の場合の組合せの総数を求める公式を導くことができる $nCr = nCn-r$ が成り立つことを理解し、工夫して要領よく計算する - 組合せの考え方をを用いた応用問題を理解する
	第 3 回	1 章 場合の数と確率 2 節 確率	試行と事象、事象の確率について学び、確率の意味を知り、不確定な事象を数量的にとらえることの有用性を認識する
後期	第 4 回	1 章 場合の数と確率 2 節 確率	- 独立な試行の確率について、具体例を通してその意味を理解する - 反復試行の確率を理解する。このとき、組合せを用いることを理解する
	第 5 回	2 章 図形の性質 1 節 平面図形の基礎 2 節 三角形の性質 3 節 円の性質 4 節 空間図形	- 三角形の重心・外心・垂心・内心の存在とその証明を理解する。また、外接円、内接円との関係を理解する - 円の基本性質と円周角の定理及び定理の逆を理解し、角度や線分の長さを求めたり、証明したりすることができる - 円に内接する四角形の定理と四角形の内接条件の定理を理解し、活用しながら図形に対する直観力・洞察力を養う
	第 6 回	3 章 数学と人間の活動 1 節 数や位置を表す 2 節 数のつくりを調べる 3 節 はかる 4 節 数学で遊ぶ	- 漢数字による記数法について理解する 10 進法、2 進法の数の表し方のしくみを調べ、法則を見つけることができる。また、2 進法と 10 進法の変換を行うことができる。 - 平面上の点の位置を表す座標の考え方を理解する - 約数、倍数、素数、素因数分解などの整数に関する基本的概念について理解し、約数、倍数を求めたり、素因数分解したりすることができる - 体積や重さの単位を調べることができる

「数学Ⅱ」

		学習の内容	学習の目標
前期	第1回	3次の乗法公式と因数分解 二項定理、分数式とその計算	・3次式の展開と因数分解の公式を用いた解き方を学ぶ
	第2回	複素数、2次方程式、解と係数の関係	・複素数により2次方程式が解けることを理解する
	第3回	整式の除法、因数定理、高次方程式、等式の証明	・因数定理を用いて因数分解や高次方程式が解けることを理解する ・等式や不等式を証明することにより、筋道を立てて問題を解決する
	第4回	直線上・平面上の点の座標、直線の方程式、2直線の関係	・座標を用いて、直線や平面上の位置を考える ・座標平面上の直線を方程式で表す
	第5回	円の方程式、円と直線、不等式の表す領域、連立不等式の表す領域	・直線や円などの基本的な平面図形の性質や関係を数学的に表現する ・不等式を満たす点の集合が座標平面上の領域を表すことを理解する
	第6回	三角関数、三角関数の相互関係、三角関数のグラフ、加法定理 加法定理の応用、弧度法	・三角関数のグラフをかくことにより、周期性について理解する ・加法定理を理解し、2倍角の公式を導く ・弧度法による角度の表し方を学ぶ
後期	第7回	指数の拡張、累乗根、指数関数とそのグラフ	・指数を有理数まで拡張して考え、そのグラフについて考察する
	第8回	対数の性質、対数関数とそのグラフ、常用対数	・対数は指数の逆の計算であることを理解する ・対数のグラフについて考察する
	第9回	平均変化率、微分係数、導関数 接線	・微分の計算を学び、微分を利用して関数のグラフがかけられることを理解する
	第10回	関数の増加・減少、関数の極大・極小、関数の最大・最小	・微分が日常のいろいろな場面で利用されている有用性を知る
	第11回	不定積分	・積分は、微分の逆の計算であることを理解する
	第12回	定積分、面積	・定積分によりいろいろな図形の面積が求められることを知る

「科学と人間生活」

		学習の内容	学習の目標
前期	第 1 回	生命の科学 ・微生物とその利用	・さまざまな微生物の存在とその働き、そして人間生活とのかかわりについて学ぶ
	第 2 回	物質の科学 ・材料とその再利用	・金属やプラスチックの性質や用途、そしてこれらの資源の再利用について学ぶ
	第 3 回	物質の科学 ・衣料と食品	・さまざまな繊維とその性質や用途、食品中のおもな成分やその性質について学ぶ
後期	第 4 回	光や熱の科学 ・光の性質とその利用 ・熱の性質とその利用	・身の回りにある光の性質を利用した事例をもとに、光の性質と人間生活とのかかわりについて学ぶ ・安全に、快適に、効率的に熱を利用するために、熱の性質と人間生活とのかかわりについて学ぶ
	第 5 回	宇宙や地球の科学 ・太陽と地球	・太陽と月がつくる暦や、太陽の影響による大気や水の動きについて学ぶ。
	第 6 回	宇宙や地球の科学 ・自然景観と自然災害	・自然景観の成り立ちやさまざまな自然災害とその対策について学ぶ

「生物基礎」

		学習の内容	学習の目標
前期	第 1 回	生物の特徴 ・生物の多様性と共通性	・祖先を共有する生物には共通性があり、,なおかつ多様性があることを見出す
	第 2 回	生物の特徴 ・生物とエネルギー	・生命活動におけるエネルギーや ATP の利用について理解する
	第 3 回	遺伝子とのはたらき ・遺伝情報と DNA ・遺伝情報とタンパク質の合成	・生物の形質は、遺伝情報によって決まることを見出す ・DNA の構造や塩基の結合について理解する
後期	第 4 回	ヒトの体の調節 ・ヒトの体を調節する仕組み	・体内環境を一定に保つために恒常性がはたらくことを見出す ・恒常性にはさまざまな器官が関係していることを知る
	第 5 回	ヒトの体の調節 ・免疫のはたらき	・ヒトの体において複数ある免疫と、そのはたらきについて理解する
	第 6 回	生物の多様性と生態系 ・植生と遷移 ・生態系と生物の多様性	・身のまわりのさまざまな環境における植生を確認する ・身のまわりにいる生物の生態系や多様性について理解する

「化学基礎」

		学習の内容	学習の目標
前期	第 1 回	化学と人間生活 ・物質の成分と構成元素	・物質を構成している基本的な成分について学ぶ ・物質の三態と状態間の変化について学ぶ
	第 2 回	物質の構成 ・原子の構造と元素の周期表	・原子の構造、原子の元素配置について学ぶ ・元素の周期表の意味について理解する
	第 3 回	物質の構成 ・化学結合	・原子、分子、イオンがどのように結合しているか理解する
後期	第 4 回	物質の変化 ・物質と化学反応式	・原子、分子を集団として扱う物質（モル）について理解する ・化学反応式の意味を理解する
	第 5 回	物質の変化 ・酸と塩基	・酸や塩基の性質や中和反応および、その量的関係について理解する
	第 6 回	物質の変化 ・酸化還元反応	・酸化還元反応を電子の授受に基づいて理解するとともに、その応用例として電池や電気分解について学ぶ

「体育」

		学習の内容	学習の目標
1 年 前 期	第1回	スポーツの発祥と発展 ・スポーツの始まりと変遷 ・文化としてのスポーツ	・スポーツの意義や歴史、文化的特徴について学ぶ
	第2回	スポーツの発祥と発展 ・オリンピックとパラリンピックの意義 ・スポーツが経済に及ぼす効果	・オリンピックとパラリンピックの意義や価値について学ぶ ・スポーツが経済活動でどのように重要な役割を果たしているかを考える
1 年 後 期	第3回	スポーツの発祥と発展 ・スポーツの高潔さとドーピング ・スポーツと環境	・スポーツの高潔さを脅かす原因と、ドーピングの破壊行為について学ぶ ・スポーツがどのように環境と調和していけばよいか考える
2 年 前 期	第4回	運動・スポーツの学び方 ・スポーツにおける技能と体力～ 技能の上達過程と練習	・スポーツにおける技能と体力の関係について学ぶ ・用具の改良やメディアの発達などによる技術や戦術、ルールの変化について学ぶ
2 年 後 期	第5回	運動・スポーツの学び方 ・効果的な動きのメカニズム ・体力トレーニング	・目的に応じたさまざまなトレーニングの方法を学ぶ ・筋力、持久力、調整力、柔軟性を高める具体的なトレーニング法を学ぶ
3 年 前 期	第6回	運動・スポーツの学び方 ・運動やスポーツでの安全の確保	・スポーツ外傷・障害とその原因について学ぶ ・スポーツ活動中に起きる重大な事故の発生原因と予防方法を考える
3 年 後 期	第7回	豊かなスポーツライフの設計 ・生涯スポーツの見方・考え方～ 豊かなスポーツライフの創造	・ライフステージに対応したスポーツの楽しみ方を考える ・日本のスポーツ推進の歩みと地域におけるスポーツ推進の取組を考える ・豊かなスポーツライフを創造していくための課題について考える

「保健」

		学習の内容	学習の目標
1 年 後 期	第1回	現代社会と健康 ・健康の考え方と成り立ち～ 休養・睡眠と健康	・健康についての多様な考え方や、健康の成り立ちとその要因を学ぶ ・生活習慣病やがんの種類と要因、予防、治療について学ぶ ・運動・食事・休養・睡眠と健康との関係について考える
	第2回	現代社会と健康 ・喫煙と健康～性感染症・エイズ とその予防	・喫煙、飲酒、薬物乱用、精神疾患、感染症、性感染症・エイズの問題が、個人や社会的に及ぼす影響や現状を理解し、自らが予防・防止することについて学ぶ
	第3回	現代社会と健康 ・健康に関する意思決定・行動選択 安全な社会生活 ・事故の現状と発生原因～心肺蘇生法	・意思決定・行動選択に影響を与える要因と、適切な意思決定・行動選択を実現する工夫について学ぶ ・事故の実態と被害の実態、安全のために必要な個人の行動を学ぶ ・交通事故防止における個人の取組と交通環境の整備について学ぶ ・日常的なけがや熱中症の応急手当、心肺蘇生法について学ぶ
2 年 後 期	第4回	生涯を通じる健康 ・ライフステージと健康～避妊法 と人工妊娠中絶	・思春期における体の変化、心の発達に関わって起こる問題について学ぶ ・性意識の男女差、性情報が性行動の選択に及ぼす影響を考える ・家族計画の意義と適切な避妊法、人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について考える
	第5回	生涯を通じる健康 ・結婚生活と健康～健康的な職業生活	・結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動を学ぶ ・高齢社会に必要な社会的取組（保険・医療・福祉制度など）を学ぶ ・働き方と健康問題の変化について学び、余暇の確保の意義を理解する
	第6回	健康を支える環境づくり ・大気汚染と健康～医薬品の制度とその活用	・環境・食品と健康との関係を学ぶとともに、社会全体の健康を高めるために、一人一人が環境づくりに積極的に参加する意義やその方法について学ぶ

「美術Ⅰ」

		学習の内容	学習の目標
前期	第1回	絵画・彫刻	・身近にあるものを見つめなおし、描き方や材料を工夫して表現する ・さまざまな作品を鑑賞し、それぞれの作品にこめられた思いを味わうとともに、表現の豊かさやおもしろさを感じとる
	第2回	さまざまな絵の具／色	・色の性質を学び、色の効果に気づいて、表現や生活の中で生かす ・鉛筆や色鉛筆などの素描材料の使用法を学び、異なる質感を工夫して静物を描く
	第3回	美術史	・日本や世界の美術史からそれぞれの時代の作品の特徴を理解する ・自身を内と外から探求し、自分にあった表現方法で自画像を描く
後期	第4回	デザイン	・伝えたい内容にふさわしい表現方法を考え、多くの人に伝わるようにデザインを工夫する
	第5回	映像メディア表現	・カメラの種類や機能を知り、表情や動きや被写体との距離感を意識したりして、身近な人の姿を写真表現する ・作品を細部まで鑑賞し、作者の表現の意図や工夫を感じとる
	第6回	デザイン史／写真史	・デザインの歴史は社会状況の変化に対応していることを理解する ・撮影機材の進歩の歴史とともに、各時代の写真作品を鑑賞する

「美術Ⅱ」

		学習の内容	学習の目標
前期	第1回	絵画・彫刻	・QRコンテンツの音声ガイドや技法動画等により、さまざまな作品を鑑賞し、表現の豊かさやおもしろさを感じとる ・身近にある花や人物像、実際に見ることが困難な美術や彫刻作品を比較し、それぞれの表現のしかた・技法を学び、自らも描いてみる
	第2回	表現の技法・用具	・漫画制作の流れや多様な作品に触れて、さまざまな表現の工夫を学ぶ ・漫画制作の主な用具や画材の名前・特性を知り、自分なりの表現で制作する
	第3回	さまざまな色と色調	・巻末のカラーガイドを利用し、色の基本の三原色から色の多様な性質を学ぶ ・いろいろなカラーの画材を使い、自分が表したいトーンでポスターを描く
後期	第4回	デザイン	・多くの作品を鑑賞し、その作者が伝えたいメッセージを感じとる ・ピクトグラムを通じて、その目的が多くの人に伝わるようにデザインを工夫する
	第5回	映像メディア表現	・多くの映像を鑑賞、比較し、作者の表現の意図や工夫を感じとる ・アニメーションの歴史を学び、自分が表現したいキャラクターを創作する
	第6回	写真の撮影と編集	・構図や光の影響など写真撮影の基本について学び、風景や被写体の見え方の違いを知る ・身近な風景や人物を対象に、自分が表現したい写真を撮影する

「英語コミュニケーションⅠ」

		学習の内容	学習の目標
前期	第1回	Warm-Up1~3 Pre-Lesson1~2 be動詞、一般動詞	・アルファベットや教室でよく使われる英語表現を学習する ・be動詞、一般動詞それぞれの用法を学習する
	第2回	Lesson1 過去形	・過去形の用法を学習し、過去の出来事を表現することができる
	第3回	Lesson2 現在進行形、過去進行形	・現在進行形の表現方法を学習し、「今していること」について表現することができる
	第4回	Lesson3 助動詞 (can, will など)	・助動詞の意味、用法を学習する ・それぞれの助動詞の意味を理解して、表現することができる
	第5回	Lesson4 to 不定詞	・不定詞の用法とそれぞれの意味を学習する ・3つの意味を理解し、訳や英作文ができる
	第6回	Lesson5 動名詞 Reading1	・動名詞の用法、表現を学習する ・動名詞を使って、実際に楽しんだことを書くことができる
後期	第7回	Lesson6 受け身	・受け身の用法、表現を学習する ・写真の情報をもとに、受け身を使って表現することができる
	第8回	Lesson7 比較表現	・3つの比較表現の用法、表現を学習する ・絵を参考に、比較表現を使って自由に表現することができる
	第9回	Lesson8 現在完了	・現在完了の3つの用法を学習する ・現在完了を使って、自分のことを表現できるようになる
	第10回	Lesson9 現在分詞・過去分詞	・現在分詞、過去分詞 それぞれの意味を学習する ・現在分詞、過去分詞を使って、自分の身の回りのことを表現できる
	第11回	Lesson10 関係代名詞	・関係代名詞の用法、表現を学習する ・関係代名詞を使って、よりわかりやすく表現できる
	第12回	Reading2 仮定法過去	・物語を英語で読み、楽しむことができる ・仮定法過去の用法、表現を学習する

「英語コミュニケーションⅡ」

		学習の内容	学習の目標
前期	第1回	Pre-Lesson Lesson 1	・to 不定詞や助動詞 will などを用いられた文の形・意味を復習する。 ・イタリアのブラーノ島への旅行を報告する SNS を通して、その島の特色について学習する。
	第2回	Lesson 2	・曲をリクエストしたラジオ番組の聴取者とディスクジョッキーの対話を通して、世代を超えて人気のあるバンドについて学習する。
	第3回	Lesson 3	・ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」についてのスピーチを通して、人間社会と自然について学習する。
	第4回	Lesson 4	・世界最小の鳥であるハチドリを紹介する記事とハチドリの物語を通して、不断の努力と不屈の心について学習する。
	第5回	Lesson 5	・日本の伝統文化である歌舞伎と隈取について学習する。
	第6回	Reading 1	・江戸時代を舞台にした怪談を読み、情景や登場人物の心情を学習する。
後期	第7回	Lesson 6	・海外の高校生に向けた、伝統野菜についてのグループ発表を通して、伝統の継続について学習する。
	第8回	Lesson 7	・世界中で壁画を描く活動についての話を通して、世界の人々と交流する方法について学習する。
	第9回	Lesson 8	・生物模倣についてのオンライン講演の授業を通して、自然界のデザインをヒントに開発された製品について学習する。
	第10回	Lesson 9	・チョコレートをめぐる現実を取り上げた雑誌記事を通して、カカオ農園の実態と児童労働及びその解決策について学習する。
	第11回	Lesson 10	・医療と看護の発展に一生を捧げたナイチンゲールの生涯について学習する。
	第12回	Reading 2	・登場人物の気持ちを考えながら朗読劇を学習する。

「論理・表現Ⅰ」

		学習の内容	学習の目標
前期	第1回	Unit 1 Lesson 1～3	・留学先での初めての食事の場面での表現について学習する。 ・道に迷った・道を案内する場面での表現について学習する。 ・身近な人を紹介するスピーチでの表現について学習する。
	第2回	Unit 1 Lesson 4～6	・体調をめぐりやり取りの場面での表現について学習する。 ・買い物の場面での表現について学習する。 ・行ってみたい場所についての表現について学習する。
	第3回	Unit 1 Lesson 7～9	・イベントに誘ったり、誘われたりする場面での表現について学習する。 ・スクールカウンセラーとやり取りをする場面での表現について学習する。 ・自分のお気に入りを紹介するスピーチでの表現について学習する。
後期	第4回	Unit 1 Lesson 10～12	・待ち合わせに遅刻したときの場面での表現について学習する。 ・家庭内で身近な社会問題についてディスカッションする場面での表現について学習する。 ・学校の英字新聞に投稿する記事のライティングの表現について学習する。
	第5回	Unit 2 Lesson 1～4	・電子書籍と紙の書籍についてクラス全体でチョークディベートをする場面での表現について学習する。 ・自らの子供のころの経験についてのスピーチでの表現について学習する。 ・オリエンテーリングのルールや手順を紹介するスピーチでの表現について学習する。
	第6回	Unit 2 Lesson 5～8	・日本の文化(こんにゃく)をPRするスピーチでの表現について学習する。 ・兄弟姉妹とのルームシェアについてのライティングでの表現について学習する。 ・外国映画の見方についてのライティングでの表現について学習する。 ・海外に行くことについてのライティングでの表現について学習する。

「家庭基礎」

		学習の内容	学習の目標
前期	第 1 回	家族・社会との共生 第 1 章 生涯を見通す 第 2 章 人生をつくる 第 3 章 子どもと共に育つ	・生涯発達の視点からライフステージの特徴と課題を理解する ・家族・家庭と私たちの生活の結びつきを理解し、社会制度としての家族や家族について考える ・職業労働と家事労働の違いを理解し、見直される性別役割分業意識を自分自身にも関わることに意識する
	第 2 回	家族・社会との共生 第 4 章 超高齢社会を共に生きる 第 5 章 共に生き、共に支える 生活の自立 第 6 章 食生活をつくる	・誰もが生涯を通して自分の力を生かし、必要に応じて援助を得ながら安心して暮らせる社会に向けて、家族・家庭生活を支える福祉について理解する ・よりよい食習慣を身につけ、生涯を健康に過ごすために、食生活の課題や食事の意義、食生活を取り巻く環境の変化などを理解する
後期	第 3 回	生活の自立 第 7 章 衣生活をつくる 第 8 章 住生活をつくる	・被服表示を参考にして目的に応じた被服入手と着装について考えられる力を身につけるために、被服の材料や性能、加工について科学的に理解する ・環境に配慮した衣生活について考え、実践できる力を身につけるために、被服の洗濯や保管方法を科学的に理解する ・持続可能な社会の構築に向け、毎日の生活でできることを取り組むことができる ・持続可能な住宅や、自助・共助・公助に基づく地域コミュニティづくり、まちづくりの担い手になるために、環境に配慮した住生活について理解する
	第 4 回	生活の自立 第 9 章 経済生活を営む 第 10 章 持続可能な生活を営む 生活の創造 第 11 章 これからの生活を創造する	・自立した消費者として適切に意思決定を行う ・生涯を見通して経済生活をマネジメントする力を身につける ・持続可能な社会の構築に向け、毎日の生活でできることを取り組むことができる ・人生の目標設定を達成し、自分らしい生活が実現できるよう生活設計をすることができる ・これから持続可能な社会を構築していくために、何ができるか考えて行動できる

「情報Ⅰ」

		学習の内容	学習の目標
前期	第1回	情報で問題を解決する ①情報とメディアの特性～ ⑩よりよい情報社会へ	・問題解決のプロセスを理解し、問題解決のために情報技術を活用することが有効であることが分かる ・情報モラルについて学び、個人情報や著作権の重要性を理解する ・より良い情報社会を築くために、気を付けることを考える
	第2回	情報を伝える ②コミュニケーション手段の変化～ ⑳情報デザインの流れ	・数値と文字、音と画像、色と動画のデジタル表現について理解する ・ユニバーサルデザインについて理解し、生活に生かそうとする ・情報デザインの方法、情報の抽象化・可視化・構造化を理解する
後期	第3回	コンピュータを活用する ②コンピュータとは何か～ ③⑩シミュレーションの活用	・プログラム言語の種類やソフトウェアのしくみを理解する ・プログラムの基本構造を知り、発展的なプログラム作成について学ぶ ・表計算ソフトウェアなどの利用してシミュレーションすることができる
	第4回	データを活用する ③⑩ネットワークとインターネット～ ④⑩目的に合わせたデータの利用	・インターネットのしくみやサービスを利用するしくみを理解し、正しく活用する方法や安全に利用する方法を理解する ・データベースの活用や問題解決のためのデータ収集、分析、目的に合わせたデータの利用について学ぶ

「高校国語入門」

		学習の内容	学習の目標
前期	第1回	・常用漢字ダブルクリア ・新総合図説国語	・漢字の書き取り ・四字熟語
	第2回	・常用漢字ダブルクリア	・漢字の書き取り・四字熟語
	第3回	・新総合図説国語	・文学史
後期	第4回	・新総合図説国語	・文学史
	第5回	・新総合図説国語 ・常用漢字ダブルクリア	・同音異義語・同訓異義語 ・故事成語・慣用句
	第6回	・新総合図説国語	・原稿用紙の使い方

「高校数学入門」

		学習の内容	学習の目標
前期	第 1 回	整数 正負の数の計算	・倍数と約数、素数について学び、素因数分解ができる ・0 より小さい数である負の数を理解し、使いこなす
	第 2 回	小数の計算 分数の計算 計算の利用	・小数の加法・減法ができる ・分数の意味を理解し、分数で表すことができる ・ある量について、割合や比べられる量を求める
	第 3 回	文字と式	・文字式の表し方に従って、式を整理できる
後期	第 4 回	実数 方程式	・平方根を求めたり、根号の性質を用いて計算ができる ・1 次方程式を解くことができる
	第 5 回	関数	・座標平面上に点をとることができる
	第 6 回	三角形 様々なグラフ	・相似な三角形の性質を利用して、直角三角形の辺の長さを求めることができる ・グラフの種類を知り、目的に応じてデータをグラフに表すことができる

「高校英語入門」

		学習の内容	学習の目標
前期	第 1 回	First Stage Part1～ Part4	・代名詞・be 動詞・不定冠詞について学習する ・This is～、所有格、形容詞、be 動詞の否定文、疑問文について学習する ・一般動詞、3 単現のs、定冠詞、複数形について学習する
	第 2 回	Second Stage Part5～ Part8	・一般動詞の否定文、疑問文について学習する ・There is(are)～の文とその否定文・疑問文について学習する ・疑問詞 What Who について学習する
	第 3 回	First Stage Story Second Stage Story	・会話形式の英文を読んで、単語の意味や読み方を確認する
後期	第 4 回	Third Stage Part9～ Part12	・be 動詞の過去形とその否定文・疑問文について学習する ・一般動詞の過去形について学習する ・一般動詞の過去形の否定文・疑問文について学習する ・疑問詞 When Where
	第 5 回	Final Stage Part13～ Part16	・現在進行形について学習する ・助動詞の文とその否定文・疑問文、命令文について学習する ・to 不定詞の働きについて学習する
	第 6 回	Third Stage Story Final Stage Story	・物語形式の英文を読んで、単語の意味や読み方を確認する